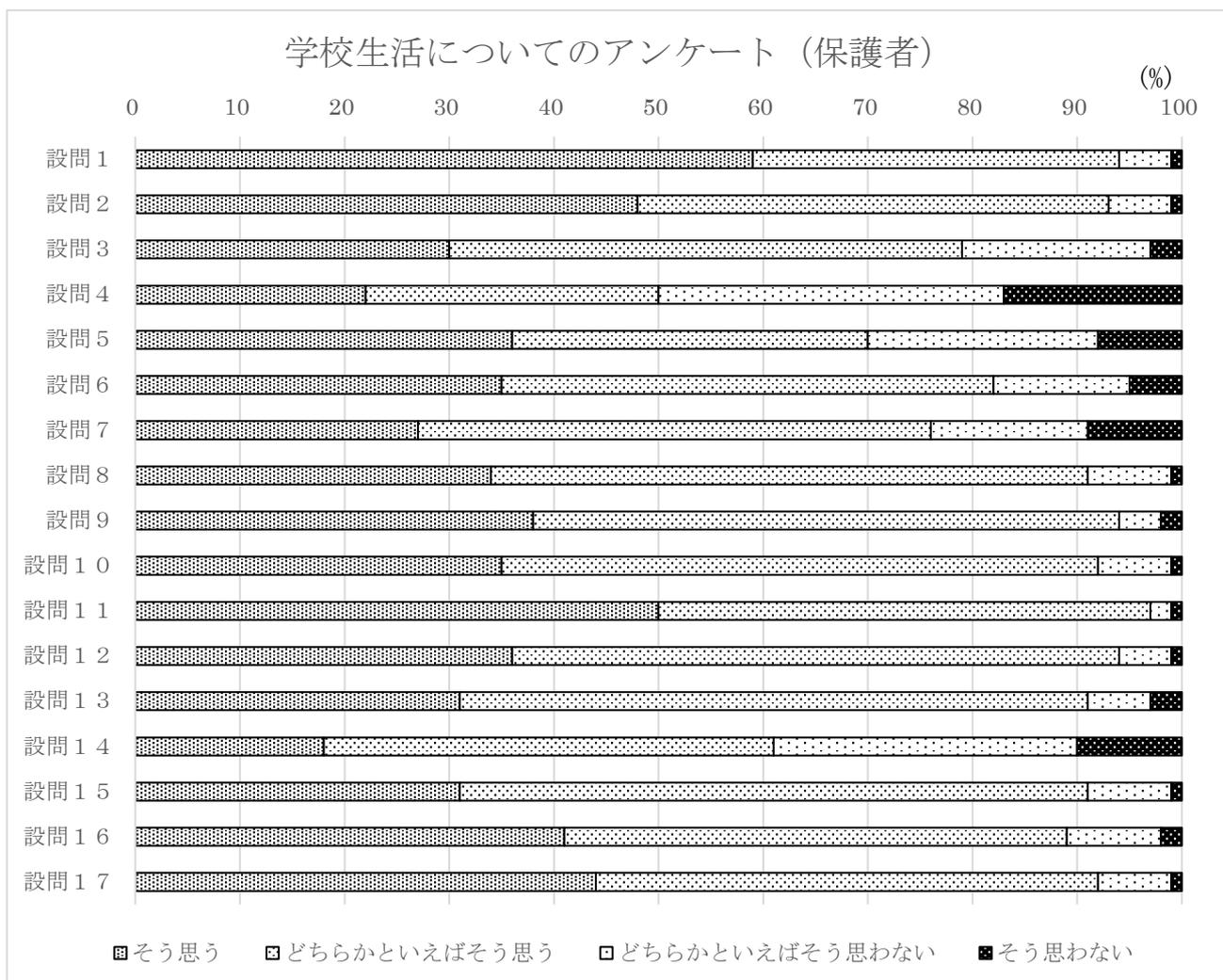


保護者の皆様には7月に実施した教育活動に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集約した結果をご紹介します。いただいた貴重なご意見を今後の学校の教育活動に生かしていきます。

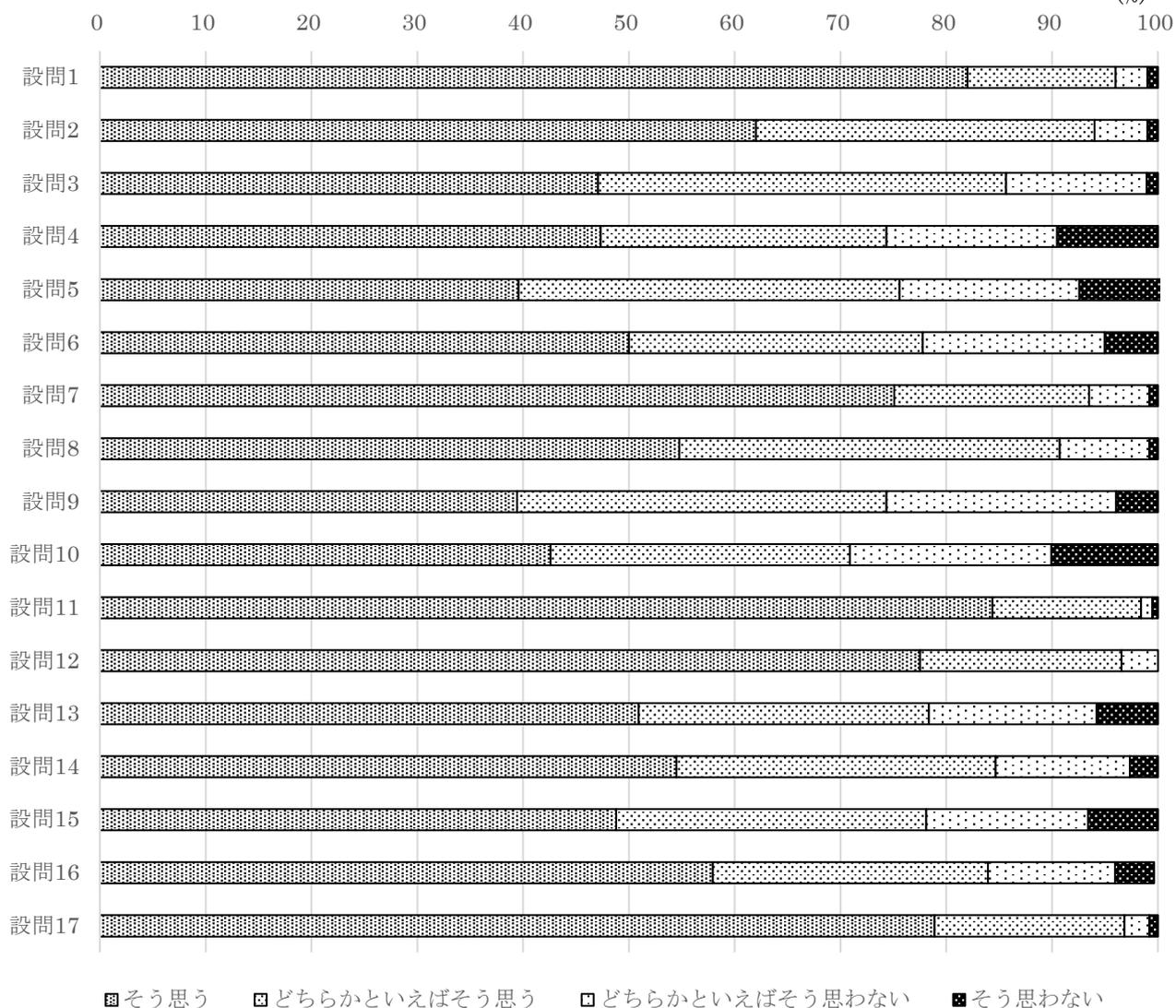
【アンケートの結果】（保護者）



- 設問 1 お子さんは楽しく学校に通っている。
- 設問 2 お子さんは友達となかよく過ごしている。
- 設問 3 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいる。
- 設問 4 お子さんは家庭ですすんで本を読んでいる。
- 設問 5 お子さんは早寝・早起きができる。
- 設問 6 お子さんは家庭でバランスよくごはんを食べている。
- 設問 7 お子さんは家庭での学習の習慣が身についている。
- 設問 8 学校はルールを守り、はじめのある行動がとれる子どもを育てている。
- 設問 9 学校は子どもたちが先生や友達の話の聴いて、しっかり考える授業づくりに努めている。
- 設問 10 学校は授業や「お話タイム」などを通して、人の話を聴いたり、自分の思いを話したりする活動の充実に向けて取り組んでいる。
- 設問 11 学校は避難訓練をはじめとし、常に子どもの安全を考えている。
- 設問 12 学校は交通ルールなどのきまりを守り、「自分の命は自分で守る」ことのできる子どもを育てている。
- 設問 13 学校は教育方針や子どもたちの教育活動の様子を、学校新聞・学年通信・ホームページなどで、よくわかるように伝えている。
- 設問 14 学校は学校や地域の人たちにすすんであいさつできる子どもを育てている。
- 設問 15 学校は「朝の読書」や授業、休み時間などを使い、読書指導を積極的に行っている。
- 設問 16 先生は子どものよさを認め、伸ばそうとしている。
- 設問 17 先生は授業をわかりやすくするための工夫をしている。

学校生活についてのアンケート（児童）

(%)



設問 1 学校は楽しい。

設問 2 友だちと協力して仲よく過ごしている。

設問 3 すすんで学習している。

設問 4 家で本を読んでいる。

設問 5 いつも早寝、早起きをしている。

設問 6 ごはんは、好ききらいなく食べている。

設問 7 家で宿題や勉強をきちんとしている。

設問 8 きまりや約束を守っている。

設問 9 話をよく聞いて、考えたり意見を言ったりしている。

設問 10 お話しタイムや授業で発言している。

設問 11 避難訓練に真剣に取り組めた。

設問 12 交通ルールやマナーを守っている

設問 13 学級通信や学年通信を読んでいる。

設問 14 学校の行き帰りなどに、地域の人にすすんであいさつをしている。

設問 15 学校で本をたくさん読んでいる。

設問 16 授業で褒められてうれしかった時がある。

設問 17 先生は、わかりやすく教えてくれる。

(ご意見・ご要望)

○登下校時のマスクについて

登下校時のマスクの取り扱いですが、教育委員会からの手紙の内容もあいまいで、結局炎天下の中、ほとんどの子どもが着用しています。子どもに話しても、「みんな着けているから」と言って外していきません。はっきりと「マスクを着けなくてもよい」と促していただけると義務感がやわらいでいくのではないのでしょうか。

マスクの着用ですが、体育の授業時、長い休み時間の外遊びは、はずすように呼びかけています。登下校時については、「はずしてもよい」ということになってあります。しゃべらない、友達同士の距離を確保ことができれば、「はずしましょう」でよいのですが、集団登下校で難しい面もあります。いつでもはずせる雰囲気づくりはしていくように努力いたします。

○夏休み中の出校日について

夏休み中の出校日ですが、下校時刻が10時なら暑い中、熱中症のリスクを背負って登下校するメリットを感じられません。以前はプールがあったり、草むしりがあったり、PTAの方がかき氷を用意してくださったり、子どもたちが楽しめる企画がありました。宿題を提出するための出校日なら、期限を決めて各自提出で十分かと思います。これからも出校日を継続させていくなら、子どもたちを登校させる意義を今一度、見直していただきたいです。

夏休み中の出校日については、熱中症のリスクがあることや、リモートでもできること等があり、学校の方でも見直しを考えています。今年、新型コロナウイルス感染者が市内で増加した関係で、出校日に登校が難しい児童もいたため、宿題の提出を玄関のボックスに入れるようにしました。宿題提出は、この方法でもできるので、来年度に向けて検討していきます。ご意見、ありがとうございました。

○ホームページアップの保護者への通知

教育活動の様子をホームページにアップされる時、同時に保護者へのメールに新着情報としてURLを送信することで、保護者が見やすくなると思います。現状では、自分からホームページを検索していかないといけないので、URLをクリックするだけで内容をすぐに確認できるのは保護者にとってとてもありがたいです。学校の先生方にはひと手間になってしまいますが、親子の会話につながります。

保護者メールの意義ですが、児童を通しての紙媒体ができない時(急な変更や休みの期間)にメールをしていました。ホームページにアップした際に保護者メールを活用するとなると、かなりの頻度でメールの送信をすることになります。心配されるのは、緊急性がなくなるのではないかということです。お知らせのデジタル化等、今後検討を重ねていきたいと思っております。

【アンケートの結果より】

保護者の方のご意見から、「設問4 お子さんはすすんで本を読んでいる」の項目と、「設問14 学校は学校や地域の人たちにすすんであいさつできる子どもを育てている」の項目が、十分できていないとの結果が出ました。これは昨年度のアンケートでも同様の結果が出ています。

「読書指導」についてはいろいろな機会を設けて、本を読む楽しさについて触れる指導をしてきました。学校では子どもたちが集中して本を読む姿を多く見かけますが、ご家庭でそのような姿があまり見られないのは、読書以外の楽しみがあったり、習い事などで忙しかったりするのではないかと思います。設問15では学校で積極的に読書をしていることがわかりましたので、子どもたちは読書の楽しさは実感しているようです。

「あいさつ」については、昨年度、同様の結果が出たことを受けて、学級での指導や執行部の企画などで、あいさつの大切さを訴えてきました。学校内では、あいさつがしっかりできる子が増えてきましたが、保護者の方や地域の方の間では、それが実感できていない現状があるようです。学校以外でもあいさつがしっかりできるよう、これからも指導をしていきたいと思えます。